

生涯学習講座 「はごろも伝説史跡めぐり~」 2025/7/2 (水)

毎年人気の史跡巡り、去年は歌碑巡りをしましたが、今年度は「察度王のお母さん天女説」を検証する講座「はごろも伝説史跡めぐり」を開催しました。

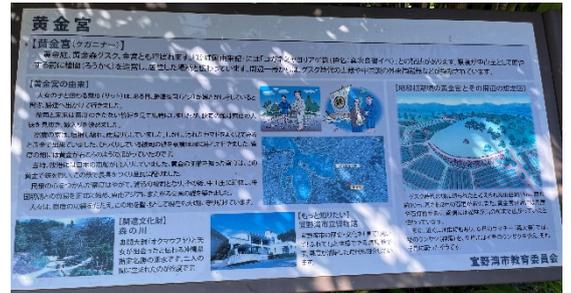
講師は琉球歴史伝承研究所・代表の伊敷賢先生です。

個人の私有地である「神屋」も見せて頂くという事、時間の制約上、昼食をバスの中で摂ることになり、補助席を使用せず受講生を15人に限定しました。



(伊敷先生)

(右) 黄金宮の説明版
勝連按司の娘、真鍋樽と結婚した察度、汚れていたカマドは何と黄金だった。畑にゴロゴロあった黄金を鉄に変えて、農民に農具を作らせ人望を得たという。



奥間大親が天女と出会ったと云う森川公園の水辺

偶然、水浴びをしている天女を察度が見初めたとなった伝説は、伊敷先生によると、多くの真実が隠されていると云う。

天女の正体は、英祖王統・三代目の英慈王の次女、真錢金だった。玉城王の乱世から、先の王の王女を守るため、奥間大親が匿ったと云う事が、真実！王女は身分を隠し、後の察度と察度の姉を産んだ後、玉城に戻ったと考えられる。



言奥間大親の神屋は、宜野湾市真志喜1丁目、現在宜野湾市長の佐喜眞家が祀っています。四神が祀られており、奥間大親の他に、真志喜大神（アマミキヨの末裔）、真志喜五郎（源為朝が、舜天王の他に儲けた子のひとり）、天願按司泰期（察度王の異母弟）と なっています。

バスで、1時間足らずの場所に華やかな王統の歴史が眠っていました。

足元の歴史を知ると、そこに、古(いにしえ)の人々の声を聴くことができます。

現在は、商業地としての色合いが濃い宜野湾市ですが、大山のウブガーは、金武町と並ぶ、田イモの一大産地となっています。又、その水源には、絶滅危惧種に指定されている紅藻や緑藻が生息していることも、見逃せません。

知識が増えたことは勿論心も豊かになった様と感じました。

次回をお楽しみに(*_*)

